

# フードバンク関西ニュース FOOD BANK KANSAI NEWS

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101

TEL : 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



## 設立20周年を迎えます

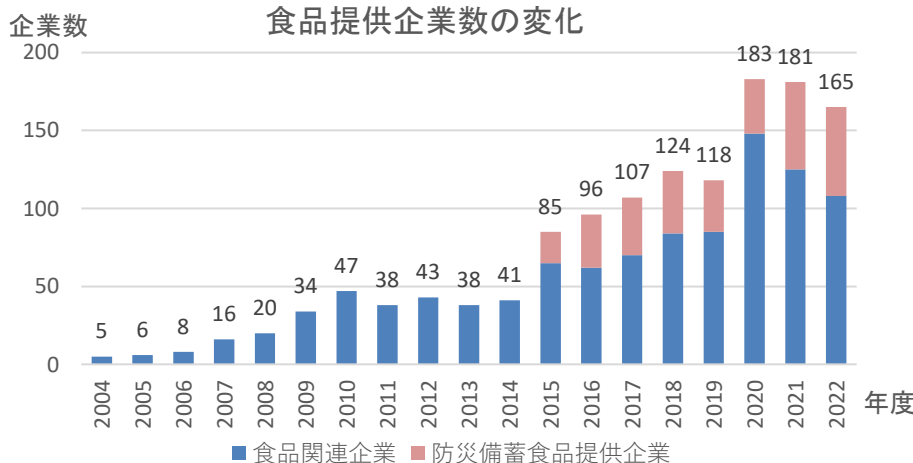
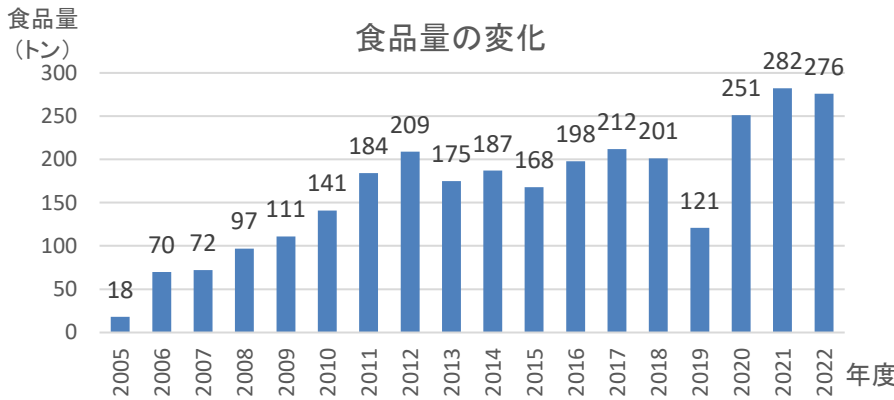
2003年4月に活動を開始したフードバンク関西は、2023年に20周年を迎えます。これもひとえに皆さまのご支援のおかげです。心より感謝いたします。

フードバンク関西を立ち上げたのは米国人ブライアン・ローレンス氏。大阪市内のホームレス支援団体に食品を無償分配する活動がスタートでした。2004年1月にNPO法人格を取得し、藤田治理事長と4人の理事を中心に本格的に活動を開始しました。

現在は役員9名、正会員27名、ボランティア登録者は100人を超えました。



活動が拡大する中、2018年に事務所を芦屋市呉川町から神戸市東灘区深江本町に移転しました



取り扱い食品量は最初の10年で200トンに達し、その後横ばいで推移していましたが、2020年にコロナの影響もあり急増しています。食品提供企業数についてもほぼ同様の状況となっています。

## 新年度を迎えるにあたって

フードバンク関西は2023年3月31日をもって第20期を終了いたしました。

原材料費の値上がり等による食品寄贈への影響が懸念されましたが、昨年度とほぼ同様に食品のご提供やご支援金を賜うことができ、受け取り団体や困窮する世帯に食品をお届けすることができました。これも活動をご支援くださった皆さまのおかげと心より御礼申し上げます。

2022年度は新型コロナウイルス感染の状況は次第に落ち着きを見せ、社会活動が再開されてきましたが、食品や光熱費の高騰がコロナ禍からまだ立ち直れない、元々生活基盤の脆弱な世帯の困窮に追い打ちをかけました。

フードバンク関西は、生活困窮に陥った世帯に対して緊急支援として原則1回、食品を宅配で送る対応をしてきました。しかしながら、1回の緊急食支援では不十分と思われる世帯が多くあり、地域で食支援を入口とした多面的な支援の体制づくりが必要と感じました。

今後、各種団体との連携をさらに進めて、当法人が食支援を通じ、生活困窮者の支援の一端を担っていきたいと思います。

今年度、フードバンク関西は20周年を迎えます。食を介して「支援の手を差し伸べたい人」と「支援を必要とする人」をつなぐフードバンクとして、食品をご提供いただく皆さまから信頼して食品を託していただき、食支援が必要な方にきちんと届けて、誰もが安心して暮らせる社会を目指し活動を継続していきます。引き続きフードバンク関西を支えてくださいますようお願い申し上げます。

代表 中島 眞紀

## 食品の回収状況

## 取り扱い食品総量



276トン

## 概況

食品関連企業への原材料費、燃料費の高騰や円安の影響が懸念されましたが、時期によっては在庫が少なくなることもあったものの、全体として昨年度並みの取扱量を確保することができました。

お米のご提供が増え、年間を通じて受け取り団体や生活困窮世帯に欠かすことなくお届けすることができました。

皆さま方のご協力により、食品の種類も野菜・果物やたんぱく源になるもののご提供が少しずつ増えてきており、内容の面でも困窮世帯にとって役立つものとなってきています。

## 企業・団体からのご提供

当法人の活動を理解し、継続的にご協力いただけるところが増えました。

行政、業界団体、企業の協力を得て、新規にご提供いただけるところも10社以上増えました。

企業の食品展示会に活動紹介の機会を得て、フードバンクの認知度を上げるとともに、サンプル品のご提供をいただくことができました。

## 個人からの寄付

731人の方から延べ1392回食品をご寄付いただきました。

特にお米は購入して届けてくださったり、ふるさと納税返礼品のお米を直送していただくことも増え、個人からのご寄付はお米の総取扱量の半分弱を占めています。要支援世帯に何が喜ばれるか尋ねて食品を送ってくださる方もあり、当法人が「支援したい人」と「支援が必要な人」をつなぐ役割を果たしているのかなと感じます。

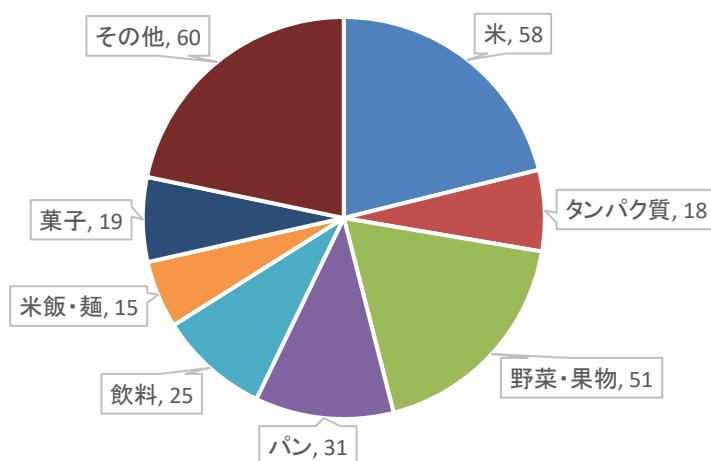
## フードドライブ

量販店に設置された回収ボックスから定期的に回収またはご搬入いただいているほか、コープこうべでは年2回、カーブスでは年1回、大規模にフードドライブを実施され、当法人にご提供いただいております。

また、食品関連以外の企業、各種団体、学校などでもフードドライブをされるところが増え、「食を介した助け合い」としてのフードドライブが定着してきているのを実感いたします。

フードドライブでいただいた食品は、生活困窮者への緊急支援や子育て世帯への支援に大変役立っております。

## 取り扱い食品の種類(単位:トン)

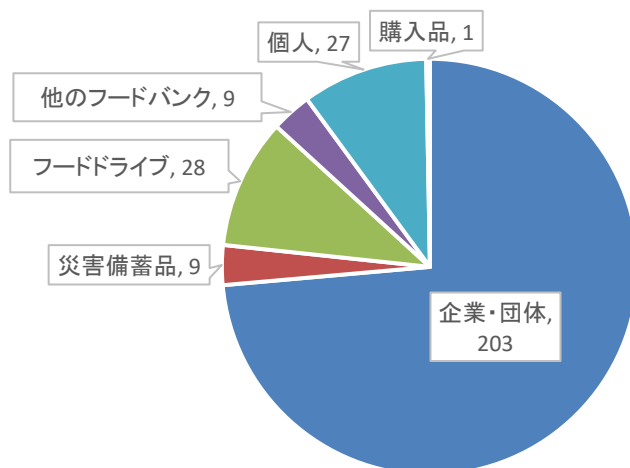


## 食品・防災備蓄食品提供企業

165社

(うち防災備蓄品提供企業 57社)

## 食品の提供元別食品量(単位:トン)



## 食品管理&amp;保管

企業等からご寄贈いただいた食品を、受け取った方々に安全で美味しく活用していただくために、食品の「品質管理規定」を定めて適正な取り扱いを行っています。

昨年度導入した、クラウド上で管理する入在庫システムの活用が進み、入庫、在庫管理がしやすく、出庫作業も効率が上がりました。

2022年度は会員管理も同様のクラウドシステムを導入し、受贈元、提供先、協力団体や賛助会員等の増加にも対応していくことができるようになりました。今後は、入在庫システムと団体情報等の一元管理も目指していきます。

昨年同様、ジェイカス株式会社の倉庫の一部をお借りすることができ、一度に大量の入荷にも、ボランティアで参加して下さっている酒井陸運株式会社のお力を借りして対応することができました。





回収した食品の活用

非営利団体への無償分配

支援を必要とする人たちを支える活動をする非営利団体に、食品を無償提供することによって、食品を有効活用し、受益者の生活の向上に役立てていただいています。受取り団体は多分野で活動する専門集団であり、フードバンク活動を理解して協力いただける当法人のパートナーです。2022年度全事業での食品提供量のうち、福祉施設等への提供が88%を占めています。

食品提供団体 **168** 団体（うち新規 **13** 団体）

困窮子育て世帯支援事業

1. 子ども元気ネットワーク

母子生活支援施設、シェルター運営団体、子育て世帯支援団体、子ども食堂など民間の団体17団体と連携し、当法人が食支援の部分を担って、1年間、お米やパン、野菜・果物、缶詰、レトルト食品やお菓子などを詰め合わせて、毎月1回宅配で直接世帯にお届けしています。対象世帯は、経済的に困窮する子育て世帯で、3歳以上、18歳以下のお子さんのいる世帯です。



今年度の支援実績 のべ **934** 世帯

1年間の食支援で世帯の状況が改善されるとは限りませんが、「繋がっていること、一人でないと感じられ、笑顔が生まれた」「送られてくる食品で心もからだもパワーをいただけた」などのコメントが返ってきて、苦しい中で子育てを頑張る世帯にとって効果のある事業です。

2. 子育て世帯応援食品パック

年2回、給食がなくなる夏休みと年末に「兵庫県内在住、3歳以上の子どものいる生活困窮子育て世帯」を対象に公募して、各回約500世帯を選定し、米やその他食品を詰め合わせた食品パックを一斉に宅配で発送しました。

夏休み子育て世帯応援食品パック

**475** 世帯、**1603** 人

年末年始子育て世帯応援食品パック

**494** 世帯、**1651** 人



募集の際のアンケートからは、1年前と比べて収入が増えていない世帯が多く、食費や食費以外を削っているなど物価高騰が大きく影響していることがわかりました。食品を受け取った世帯からは、「たくさんの方が支えてくれていることで頑張ろうと思った」「子どもが歓声を上げる様子をみて嬉しかった」「不安でいっぱいだったが助かった」などのコメントがたくさん寄せられました。

今後に向けて

設立から20周年を迎えるにあたり、食支援を必要とする方々へ必要とされる食品をしっかりと届けられるよう、継続性とともにより適正な提供を目指し、フードバンクとしての信頼性の向上に努めます。また、行政機関や地域の支援団体と協働の枠組みの中で、食支援の役割を果たすよう各方面との連携体制づくりに努めます。

食のセーフティネット事業

1. 行政・社会福祉協議会等を通じて

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
支援件数	666	876	587	399

生活困窮に陥った世帯に対して、行政や社会福祉協議会の生活相談担当部署からの支援要請を受けて、当法人が米や日持ちのする食品を用意し、担当部署を通じて対象者に食品をお届けしています。

事業協定締結自治体

尼崎市、高砂市 および神戸市、芦屋市、西宮市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、加東市、猪名川町の社会福祉協議会と兵庫県郡部12町を対象地域とする1民間事業所

各自治体でも災害備蓄品の入れ替え品やフードドライブ回収食品などの備蓄品で対応するようになったこともあり、行政、社会福祉協議会を通じての食支援件数は減少傾向にあります。しかし、フードバンク関西からの食支援は種類も多く、家族の状況に配慮したもので心も体もほっとして前向きな気持ちになっていただけたとのこと。

2. 個人からの直接依頼

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
支援件数	6	81	1017	266

生活困窮世帯への食支援は、行政や社会福祉協議会を通じての依頼を原則としていますが、直接個人から当法人ホームページを通じて、または事務所へ電話で、食支援の依頼が入ることがあります。それに対し緊急性やご事情を勘案して必要と判断すれば、直接宅配で食品をお届けする対応をしています。コロナ感染状況も次第に落ち着き、前年度のように食支援の依頼が殺到するという状況ではなくなりましたが、母子世帯など依然苦しい状況も垣間見られます。

関係各機関との連携

1. 兵庫子ども食堂ネットワーク

加盟団体が100を超え、県内全域に広がってきました。企業・団体からネットワークへの支援も増え、支援物資を各拠点に配分してそこから各子ども食堂が受け取るという形ができました。全国子ども食堂支援センターむすびえの助成金を得て、シンポジウムやファンディング研修会の開催や各子ども食堂へ運営支援をすることができました。

2. 行政・社会福祉協議会との連携

2022年6月30日「食のセーフティネット実務者情報交換会」を開催し、コロナ禍での生活相談部署の状況や、当法人の個人世帯への直接支援の状況について情報交換し、協力関係強化に向けて話し合いを行いました。2023年2月2日「ひょうごフードサポートネット」に参加し、サポーターに登録しました。

3. フードパントリー

フードパントリー開催団体の情報収集、視察を行いました。今後、地域でフードパントリーを開催する団体との連携を図ってまいります。

4. フードバンク間の連携

兵庫県内フードバンクの情報交換会と物資の提供、他のフードバンクへの視察等を行いました。

## 運営費について

フードバンク事業では収益性がなく、当法人の活動運営費は、活動趣旨に賛同して下さる賛助会員年会費、市民や団体からの寄付、そして助成金で賄っています。2022年度もたくさんの方々からご支援いただくことができました。皆様からの当法人の活動への期待を真摯に受け止めてまいります。

支援金の種類	合計(円)	個人		法人・団体	
		人数	金額	件数	金額
正会員会費	270,000	27人	270,000	0	0
賛助会員会費	6,843,500	245人	3,484,500	175件	3,359,000
一般寄附	18,254,971	450人	12,193,074	40件	6,061,897
助成金	1,462,718	0	0	3件	1,462,718
補助金	1,000,000	0	0	1件	1,000,000
合計	27,831,189				

### ■賛助会員、個人・企業からの支援

2022年度は、賛助会員からの年会費、一般の皆さまからの寄付が、個人、法人を合わせて910件でした。クレジットカードでの継続寄付も順調に推移し、個人や企業から「子どもたちのために使って」「活動に共感します」とメッセージを添えてご支援くださることも多々ありました。

### ■助成金・補助金

神戸市環境局フードバンク活動支援助成金、「BE KOBEミライPROJECT殿堂入り賞」、神戸市福祉局くらし支援課から「生活困窮者に対して食料品・生活支援情報を提供するNPO法人等に対する補助金」を受けました。

2022年度収入		2022年度支出		
会費(正会員)	270,000	事業費	人件費	2,326,822
会費(賛助会員)	6,843,500		食品配送費	4,171,882
一般寄附	18,254,971		交通費	1,848,110
助成金	1,462,718		賃借料	3,056,905
補助金	1,000,000		食品購入費	1,698,552
その他収入	565,270		その他経費	5,861,856
		管理費		1,352,431
経常収入合計	28,396,459	経常支出合計		20,316,558

## EVENTS

### 「第5回いのちとくらしの映画祭&講演会」

(兵庫県民会館) 2023年2月22日

コープ自然派兵庫・コープこうべ他と当法人が実行委員会を組んで、貧困などの社会問題を市民と一緒に考える機会として開催しています。講師が直前に体調不良で講演中止となり、映画「家族を想うとき」上映と地域で活動する支援団体の活動紹介となりましたが、参加して下さった皆さまからは、それぞれの団体の実際の活動について知ることができてよかったと好評でした。



## NEWS&TOPICS

### チャリティーポロシャツ

BONCECILが企画し、京都発のチャリティー専門ファッションブランドJAMMINがデザインしてくださった、フランスパンモチーフ刺繍のチャリティーポロシャツがソゾタウンで販売されました。売上の一部が、フードバンク関西に寄付されます。販売サイトでは、チャリティーの趣旨やフードバンク関西の活動紹介もされていて、ソゾタウンを利用される多くの方に我々の活動を知っていただく機会にもなりました。



フードバンク関西をイメージした、胸元のフランスパンの刺繍が印象的です

誰もが食べ物を得られる社会のために、みなさまのご支援をお願いします。

クレジットカードから手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●ゆうちょ口座への払込、振替：口座番号 **00990 - 7 - 333141**

※振込手数料について 赤い郵便振替取扱票(当法人送金手数料負担)でのご寄付でも現金での送金にご寄付者に加算料金110円をご負担いただくこととなりますのでご注意ください。ゆうちょ通帳・カードからの送金は手数料なしです。

●銀行振込：三井住友銀行 芦屋駅前支店 口座番号 **4032415**

※手数料についてはご確認ください。

※いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」

※お振込みの際にはメールにて寄付者の住所、氏名、寄付日時を必ずお知らせください

([info@foodbankkansai.org](mailto:info@foodbankkansai.org))



↑↑こちらからもお申込みできます。